

2025 年度

名古屋大学大学院環境学研究科 都市環境学専攻

博士前期課程 建築学コース

入学試験問題

専 門 科 目 I (計画系・設計製図)

【 設 計 製 図 】

一般選抜 (普通入試)

留学生特別選抜

社会人特別選抜

令和 6 (2024) 年 8 月 22 日 (木) 14:40~18:40

受験番号	
------	--

注意事項

- 1) 本冊子は、専門科目 I (計画系・設計製図) のうち、設計製図の問題である。問題は、この表紙および白紙 1 枚と、問題 3 枚の計 5 枚からなる。試験開始後、直ちに枚数を確認し、過不足がある場合は申し出ること。
- 2) 本冊子のホチキス止めを外さないこと。
- 3) 試験開始後、本冊子の表紙に受験番号を記入すること。
- 4) 本冊子の他に、答案図面用紙 (ケント紙) 1 枚、エスキス用紙 (トレーシングペーパー) 1 枚、受験番号シールが配布される。
- 5) 試験終了後、答案図面用紙の裏面右上に受験番号シールを貼ること。
- 6) 答案は日本語で解答すること。
- 7) 試験終了の合図があったら、答案図面用紙、エスキス用紙、本冊子を製図板の上に置き、試験監督者の指示に従って退室すること。

設計製図

課題：運河公園に建つ都市博物館

1. 設計の趣旨

ある大都市の運河の旧荷揚げ場が、現在は水辺の公園となっている。この場所に都市の歴史文化を展示する都市博物館を設計せよ。

2. 敷地と制限

敷地周囲の図面を参照すること。敷地は駅から徒歩 10 分程度のところに位置し、平坦地である。設計する敷地（80m×50m）に計画すること。構造は自由である。

3. プログラム

次の規模のプログラムを想定し、屋内化された建物の延床面積は 1,200 m²程度で博物館を設計しなさい。水辺を歩けるように、水辺との関係性を考慮して、敷地内全体のランドスケープと建物の外観を設計すること。また、鉄道の高架レベルから見える敷地についても十分留意すること。展示室に配置するジオラマ模型を立体的に見学できるように展示方法を配慮すること。

建築物の規模は、以下の通り。

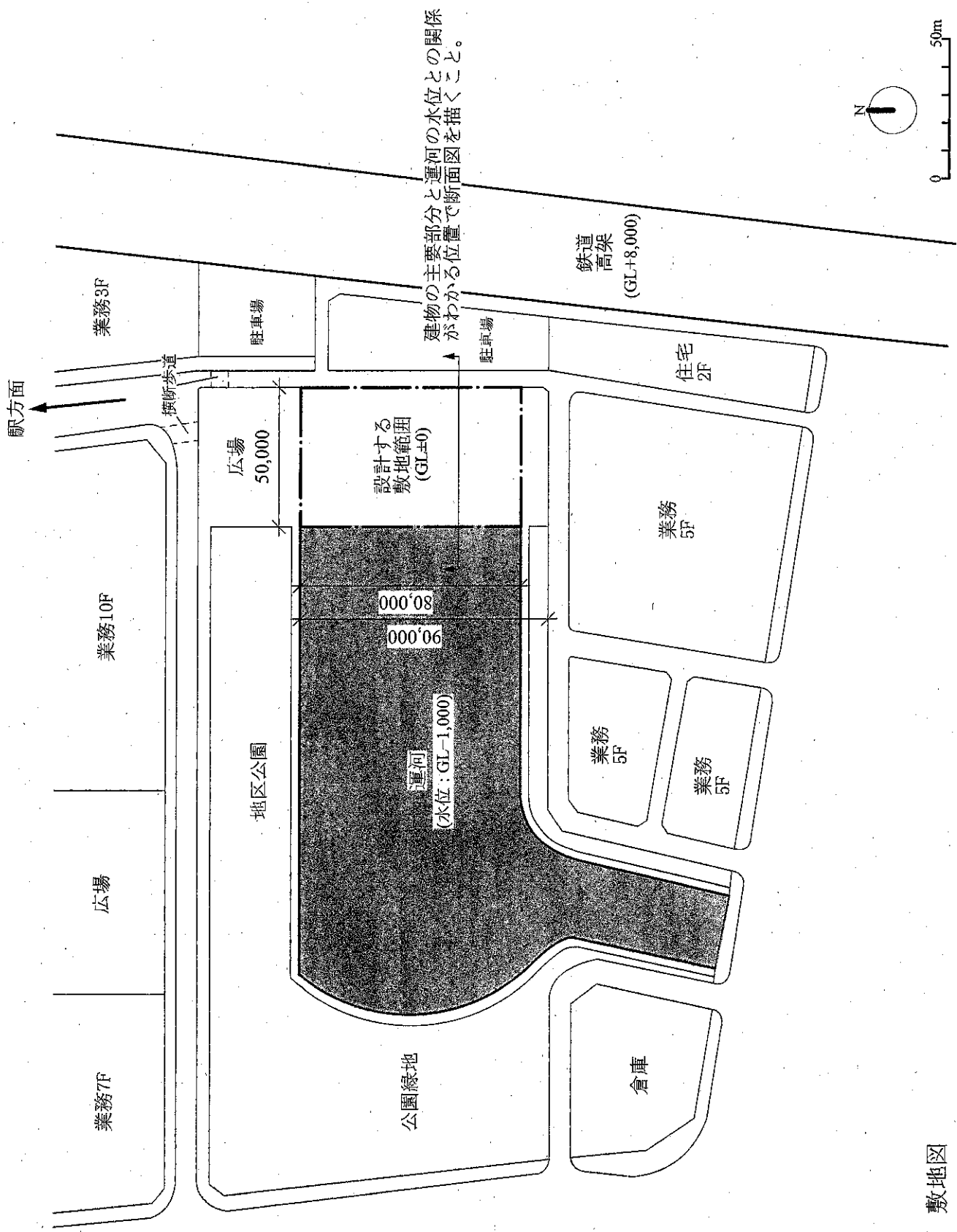
- 都市の歴史文化を展示する屋内施設：700 m²
- カフェ：100 m²
- ショップ：50 m²
- 玄関と交流ラウンジ：大きさは適宜設定する
- 事務室：30 m²
- 収蔵庫：50 m²
- トイレとロッカー：大きさは適宜設定する

4. 所要図面

- 1) 配置図兼 1 階平面図、及び各階平面図（S=1/200）：敷地全体を含め、外構植栽と舗装とベンチを記入すること。北を上として描くこと。都市のジオラマ展示（6m×6m）、壁面への動画投影（縦 4m ×横 6m）の設置を想定すること。過

去から現在まで、都市と緑地と水辺の歴史文化を展示する幾つかのブースも想定すること。

- 2) 断面図 (S=1/200) 1 面：運河の水面との関係を示すように断面図を描くこと。
- 3) 敷地の周囲の広場と水辺を含む鳥観図 1 枚：北西側から見た鳥観図
- 4) 設計主旨：200 字程度の設計主旨、各階の床面積、延床面積を示すこと。



敷地図